

アルコール検知器協議会

(J-BAC: Japan Breath Alcohol testing Consortium)

第 5 回 定時総会

議 事 録

日時:2019 年 4 月 12 日 14:30~15:50

場所:フクラシア八重洲(東京)
東京都中央区八重洲 2-4-1
ユニゾ八重洲ビル 3F

1. 出席者(順不同・敬称略)

参加者	企業名	参加者	議決権
1	光明理化学工業(株)	吉村 輝喜	5
2	光明理化学工業(株)	畑 慎一	
3	サンコーテクノ(株)	坂口正一	10
4	サンコーテクノ(株)	角谷義隆	
5	新コスモス電機(株)	西田光輝	5
6	新コスモス電機(株)	境裕司	
7	(株)タニタ	谷田 千里	10
8	(株)タニタ	望月 計	
9	(株)タニタ	佐川 清志	
10	(株)タニタ	坂田 和彦	
11	(株)タニタ	市橋 徹	
12	中央自動車工業(株)	酒井 規光	10
13	中央自動車工業(株)	浜本 謙	
14	中央自動車工業(株)	高橋 智也	
15	テレニシ(株)	東野 蔵	5

16	テレニシ(株)	細川 理恵	
17	東海電子(株)	杉本哲也	10
18	東海電子(株)	吉田剛	
19	東海電子(株)	ブライアン アドコック	
20	東海電子(株)	高木大地	
21	ドコモ・システムズ(株)	村田 敦	5
22	(株)東洋マーク製作所	山本 篤	10
23	(株)東洋マーク製作所	山内昌人	
24	NISSHA エフアイエス(株)	常深剛生	10
25	NISSHA エフアイエス(株)	柳谷順子	
26	(株)ネモト・センサエンジニアリング	三浦 章宏	5
27	パイ・アール(株)	谷本垂樹	5
28	パイ・アール(株)	山崎帆洋	
29	フィガロ技研(株)	西村明久	10
30	フィガロ技研(株)	豊田雅史	
31	フィガロ技研(株)	四方形洋	
32	フィガロ技研(株)	川畑孝敬	
33	前野技研工業(株)	前野起男	5

[会員総数]

正会員総数 19社(2019年4月21日現在)
準会員総数 2社(2018年4月21日現在)

[出席数まとめ]

正会員出席数 14社 35名

[欠席数まとめ]

正会員欠席数 5社 (株)データ・テック
テックウエルインターナショナルジャパン(株)
ドレーゲルジャパン(株)
(株)パーマンコーポレーション
(株)ヤナコ計測

準会員欠席数 2社
(株)篠原計器製作所
名鉄 EI エンジニア(株)

[委任状受理]

5社 25口
(株)データ・テック(5口) ※事務局に委任
ドレーゲルジャパン(株)(5口) ※事務局に委任
(株)ヤナコ計測(5口) ※事務局に委任
(株)パーマンコーポレーション(株)(5口) ※事務局に委任
テックウエルインターナショナルジャパン株式会社(5口) ※FIS 常深様委任

[議決権行使総数] 130(議決権保有者数 19 名 + 事務局委任分)

2. 議事次第

1) 総会開催宣言・議長選任・総会の成立・議決権の確認

2) 谷田会長の挨拶

3) 報告・連絡事項

4) 審議事項

- (1) 第1号議案 決議事項: 前年度会計報告および監査報告内容の承認
- (2) 第2号議案 決議事項: 業務委員会 2018 年度活動実績の報告及び承認
- (3) 第3号議案 決議事項: 技術委員会 2018 年度活動実績の報告及び承認
- (4) 第4号議案 決議事項: 業務委員会 2019 年度活動計画及び予算(案)の承認
- (5) 第5号議案 決議事項: 技術委員会 2019 年度活動計画及び予算(案)の承認

5) 質疑応答

6) 閉会

3. 議事進行

1) 総会開会宣言・議長選任・総会の成立・議決権の確認

望月幹事が定刻に開会を告げ、初めに、会則、第5条1項⑫「総会の議長は、幹事会が幹事会の中から一名を指名する。」の規定に基づいて、望月幹事が議長を務めることを説明した。

次に、総会成立の確認が行われた。本会総会員数21社(正会員数19社、準会員数2社)のうち、出席が14社、欠席が7社であり、欠席の3社が委任状での参加、2社が欠席、残りの2社は準会員の為、議決権がなし。過半数の正会員の出席により、会則案、第5条1項③の規定に則り、本総会は有効に成立したと認められたため、アルコール検知器協議会第5回定時総会の開会を議長が宣言した。続いて、議決権の確認が行われた。第5条1項⑥の規定に則り、出席会社の議決権保持者19名、及び、委任分(事務局)を合わせて議決権行使総数は130であり、ゆえに議案は過半数の65以上で承認される。

2) 谷田会長の挨拶

本日はご多用の中、第5回アルコール検知器協議会定時総会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、平素より当会の活動に対しまして、ひとかたならぬご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。定時総会の開催にあたりまして、ひと言ご挨拶申し上げます。

アルコール検知器を取り巻く環境は現在、大きな転換期を迎えています。昨年の秋以降、各航空会社で操縦士や客室乗務員のアルコールに関する不適切な事案が続発しました。これを受け、航空各社では乗務前のアルコール検査の規定値を厳格化したり、検査手法を改善したりするなど、再発防止への取り組みを加速しています。また、監督する国土交通省航空局では、昨年11月から「航空従事者の飲酒基準に関する検討会」を設け、協議を開始。今年1月に操縦士の飲酒基準を制改定したほか、今年9日には、操縦士と客室乗務員は運航の前後、整備従事者、運航管理従事者においても業務前のアルコール検査を義務化するというとりまとめを発表しました。こうした飲酒に関わる問題に対応する動きは、航空分野だけでなく、船舶や鉄道にも広がっており、運輸・交通の安全を支えるアルコール検知器、ならびに当会の役割はますます重要になっています。

当会はアルコール検知器の技術や品質の向上と、その普及啓発による業界の地位向上を目的に、国内唯一の業界団体として、2015年4月に発足しました。この間、技術委員会と業務委員会で検定制度の策定、適切な使用の啓発など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。昨年から今年にかけては、先ほどお話ししました「航空従事者の飲酒基準に関する検討会」にアルコール検知器の専門団体として招聘(しょうへい)されて説明をしたほか、自動車事故対策の専門機関・「自動車事故対策機構」や、自動車メーカーの業界団体・「日本自動車工業会」など、関係団体からヒアリングを受ける機会も増えております。業界における当会の存在感はますます大きくなっているといえ、これもひとえに、会員の皆さまのご尽力の賜物と、深く感謝いたしております。

また、昨年準備を進めておりました「第三者機関による検定制度」が、今月からスタートしました。これにより、航空業界でも問題となっていた、検知器の信頼性を保証し、事業者や生活者にとって今まで以上に透明性の高い選択基準を提供できるようになります。今年度は、引き続き、関係省庁や団体と協調しながら、アルコール検知器の普及、品質や技術の向上、飲酒に関する正しい知識の啓発に取り組んでまいります。特に、航空、船舶、鉄道へと広がっている対策の動きを、商用登録ではない、いわゆる「白ナンバー」で業務に使用されている自動車へと広げていくことが、安全・安心な交通社会を築いていく上で、喫緊の課題であると考えています。また、検定制度については、海外に展開する商品においても信頼性を保証できるよう、JIS化を目指して取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、当会に対し、引き続き力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からの開会のご挨拶とさせていただきます。

3) 報告・連絡事項

(1) 会員紹介

議長より、本日時点における会員は21社であると報告され、以下の通り読み上げられた。

(順不同)

NISSHA エフアイエス株式会社(正会員)
光明理化学工業株式会社(正会員)
サンコーテクノ株式会社(正会員)
新コスモス電機株式会社(正会員)
株式会社タニタ(正会員)
中央自動車工業株式会社(正会員)
テレニシ株式会社(正会員)
東海電子株式会社(正会員)
株式会社東洋マーク製作所(正会員)
株式会社ネモト・センサエンジニアリング(正会員)
株式会社パーマンコーポレーション(正会員)
株式会社パイ・アール(正会員)
フィガロ技研株式会社(正会員)
前野技研工業株式会社(正会員)
株式会社ヤナコ計測(正会員)
ドコモ・システムズ株式会社(正会員)
株式会社データ・テック(正会員)
株式会社テックウエルインターナショナルジャパン(正社員)
ドレーゲルセーフティージャパン株式会社(正会員)
名鉄 EI エンジニア株式会社(準会員)
株式会社篠原計器製作所(準会員)

4) 審議事項

(1) **第1号議案** 決議事項: 前年度会計報告および監査報告内容の承認

川畑監事より、2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の収支決算書の内容を説明した。続いて、4月4日に東洋マーク製作所において事務局(坂口氏)立会いのもと実施した監査結果が報告され、収入・支出に関わる関係帳簿・証票・書類などの審査をした結果、会計処理は正確で2018年度収支決算書は適正であると報告された。

議長より、第1号議案に関する質問、意見について確認したところ、挙手は無かった。

議長より、第1号議案: 活動内容の承認可否を諮ったところ、賛成多数で可決された。

(2) **第2号議案** 決議事項: 業務委員会 2018年度活動実績の報告及び承認

酒井委員長より、2018年度業務委員会活動実績の報告があった。

業務委員会の主な活動としては、下記となる。

- ① HP改定着手

- ② マスコットキャラクター「Jバツ君」商標登録
 - ③ 官公庁・各種団体との関係強化(J-BACの認知度向上)
 - ・全日本交通安全協会、東京都交通安全協会、日本バス協会、国土交通省、義歯安定剤連絡会、アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク
 - ④ イベント参画
 - ・第 67 回中央技術委員会全国大会出展
 - ・第 56 回中国バス協会事故防止対策委員会総会出展
 - ⑤ 各広告物の更新
- 坂口幹事からは、国土交通省との取り組みに関して、別途報告があった。

議長より、第2号議案に関する質問、意見について確認したところ、挙手は無かった。
議長より、第2号議案:活動内容の承認可否を諮ったところ、賛成多数で可決された。

(3) **第3号議案** 決議事項:技術委員会 2018 年度活動実績の報告及び承認

常深委員長より、2018 年度技術委員会活動実績の報告があった。

技術委員会の主な活動としては、下記となる。

- ① 外部試験開始に向けた作業
 - 書類の整備：JB00001（アルコール検知器検定制度）
 - ：JB10001（アルコール検知器技術規格）
 - ：アルコール検知器検定制度結果報告書
- ② 外部団体（C E R I）との交渉
 - ・見積もり条件の確認・試験方法の確定・試験開始に向けたプレ試験実施
 杉本幹事からは、海外及び規格関連の活動報告があった。

議長より、第3号議案に関する質問、意見について確認したところ、挙手は無かった。
議長より、第3号議案:活動内容の承認可否を諮ったところ、賛成多数で可決された。

(4) **第4号議案** 決議事項:技術委員会 2019 活動計画及び予算(案)の承認

杉本委員長より、2019 年度技術委員会活動実績の報告があった。

業務委員会の主な活動としては、下記となる。

- ① 外部検定開始の広報
- ② J-BAC の教育実績をつくる
- ③ 業界の見える化、情報提供の強化
- ④ 未接触各業界団体への認知活動

議長より、第4号議案に関する質問、意見について確認したところ、挙手は無かった。
議長より、第4号議案:活動内容の承認可否を諮ったところ、賛成多数で可決された。

(5) **第5号議案** 決議事項:技術委員会 2019 活動計画及び予算(案)の承認

畑委員長より、2019 年度技術委員会活動実績の報告があった。
技術委員会の主な活動としては、下記となる。

- ① 2018 年度活動報告
- ② 今後の取り組みについて
- ③ 2017 年度～2020 年度の活動計画(案)
- ④ 2019 年度活動スケジュール(案)
- ⑤ 2019 年度予算(案)

議長より、第5号議案に関する質問、意見について確認したところ、挙手は無かった。
議長より、第5号議案:活動内容の承認可否を諮ったところ、賛成多数で可決された。

(6) 質疑応答

議長より、総会全般に関して質疑をもとめたが特に無かった為、後日、質疑があれば個別に協議会事務局まで問い合わせるようにと説明した。

(7) 閉会

議長より、アルコール検知器協議会 第5回定時総会の閉会を宣言した。

以上